

「實用科學日文」 (2023 年度第一學期)

— 文法練習問題 03 —

きのただいすけ

2023 年 09 月 27 日

問題 1

- ▶ 「…だけ…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「なぜ動物の中でヒトだけが話せるのか。」
 - ▶ 例: 「どちらも声は出すが、霊長類の中でヒトだけが『話す』という特有の能力を獲得したのである。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれませんが。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 2

- ▶ 「…動詞+やすい…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「ヒトの声帯は進化して単純な構造になったため、安定した音を出せ、発話しやすくなったと考えられるという。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみることを。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 3

- ▶ 「…も…も…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「ヒトもサルも、喉の奥にある『声帯』をふるわせて声を出している。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみることを。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 4

- ▶ 「…あまり…動詞+ない…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「そうしたことから、話すという能力の進化や起源は、舌や唇の運動や脳の機能などとの関連が多く研究されている一方で、声帯はあまり注目されていなかった。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれませんが。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 5

- ▶ 「…動詞+ている…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「ヒトもサルも、喉の奥にある『声帯』をふるわせて声を出している。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみることを。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 6

- ▶ 「…動詞+ていた…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「今回調べたサル類の声帯は、ヒトとの遺伝的な近さにかかわらず、みな声帯膜をもっていた。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみることを。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 7

- ▶ 「…動詞+ことなく…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「それらは薄く切った断面を顕微鏡で観察するのが一般的だが、CTによって貴重な標本を傷つけることなく丸ごと、しかも詳細に観察することができた。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 8

- ▶ 「…しかも…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「それらは薄く切った断面を顕微鏡で観察するのが一般的だが、CTによって貴重な標本を傷つけることなく丸ごと、しかも詳細に観察することができた。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれませんが。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 9

- ▶ 「…動詞+ていなければ…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「標本が保存されていなければ、声帯膜の発見はなかったでしょうね。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 10

- ▶ 「…主に…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「ファイバースコープを使ってサル類ののどの動きを観察すると、声を出すときには主に声帯膜を使っており、声帯は付加的な役割しかしていないことがわかった。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 11

- ▶ 「…しか…動詞+ない…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「ファイバースコープを使ってサル類ののどの動きを観察すると、声を出すときには主に声帯膜を使っており、声帯は付加的な役割しかしていないことがわかった。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 12

- ▶ 「…更に…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「サル類の声を出し方のしくみをさらにくわしく探ると、声帯と声帯膜の振動が相互に作用し、両者に複雑な振動がおきていた。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 13

- ▶ 「…相互に…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「サル類の声を出し方のしくみをさらにくわしく探ると、声帯と声帯膜の振動が相互に作用し、両者に複雑な振動がおきていた。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれませんが。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 14

- ▶ 「…より+形容詞…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「その結果、サルはヒトより弱い力で強い声を出せるが、複雑な振動により音声は乱れやすく、安定した声を出しにくいことがわかった。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれませんが。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみることに。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 15

- ▶ 「…動詞+にくい…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「その結果、サルはヒトより弱い力で強い声を出せるが、複雑な振動により音声は乱れやすく、安定した声を出しにくいことがわかった。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 16

- ▶ 「…のみ…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「声帯膜を失ったヒトは、声を出すときは声帯のみを振動させている。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみることを。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 17

- ▶ 「…御蔭…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例:「声帯が単純になったおかげで、ヒトは安定した声が出せるようになったというわけだ。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみることを。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 18

- ▶ 「…但し…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例:「この研究により、声帯という器官の形の変化が言語の進化に重要なことが示された。ただし、言語をあやつるためには、舌や声帯を動かす筋肉や呼吸の運動を制御する脳や神経の進化も必要である。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 19

- ▶ 「…動詞+ためには…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「言語の起源や進化を探るためには、ハードウェアだけでなく言語をあやつる脳、つまりソフトウェアの理解も欠かせません。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 20

- ▶ 「…だけでなく…も…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「言語の起源や進化を探るためには、ハードウェアだけでなく言語をあやつる脳、つまりソフトウェアの理解も欠かせません。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 21

- ▶ 「…欠かせない…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「言語の起源や進化を探るためには、ハードウェアだけでなく言語をあやつる脳、つまりソフトウェアの理解も欠かせません。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみること。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 22

- ▶ 「…少しずつ…」を使って文を作りなさい。
 - ▶ 例: 「形状などは少しずつことなるが、どのサルにも声帯膜があるのがわかる。」
- ▶ 注意事項
 - ▶ 言葉の意味や用法がわからない場合には、辞書を使って調べ、わかったことをノートに書き留めておくこと。
 - ▶ この問題は期末試験で出題されるかもしれません。教室での時間を有効に使い、実際に作文してみることを。
 - ▶ 作文が完成したら、皆の前で発表するとよいでしょう。誤りがあれば、訂正してもらうことができます。
 - ▶ 辞書で調べてもわからないことがあれば、質問すること。

問題 23

▶ 動詞「話す」を活用させなさい。

▶ 語幹: _____

▶ 未然形: _____ ない / _____ う

▶ 連用形: _____ ます

▶ 終止形: _____

▶ 連体形: _____ とき

▶ 仮定形: _____ ば

▶ 命令形: _____

問題 24

▶ 動詞「動かす」を活用させなさい。

▶ 語幹: _____

▶ 未然形: _____ ない / _____ う

▶ 連用形: _____ ます

▶ 終止形: _____

▶ 連体形: _____ とき

▶ 假定形: _____ ば

▶ 命令形: _____

問題 25

- ▶ 形容詞「古い」を活用させなさい。
 - ▶ 語幹: _____
 - ▶ 未然形: _____ う
 - ▶ 連用形: _____ た / _____ なる
 - ▶ 終止形: _____
 - ▶ 連体形: _____ とき
 - ▶ 假定形: _____ ば
 - ▶ 命令形: — (形容詞に命令形はなし)

問題 26

- ▶ 形容詞「薄い」を活用させなさい。
 - ▶ 語幹: _____
 - ▶ 未然形: _____ う
 - ▶ 連用形: _____ た / _____ なる
 - ▶ 終止形: _____
 - ▶ 連体形: _____ とき
 - ▶ 假定形: _____ ば
 - ▶ 命令形: — (形容詞に命令形はなし)

問題 27

- ▶ 形容動詞「容易だ」を活用させなさい。
 - ▶ 語幹: _____
 - ▶ 未然形: _____ う
 - ▶ 連用形: _____ た / _____ ない / _____ なる
 - ▶ 終止形: _____
 - ▶ 連体形: _____ とき
 - ▶ 仮定形: _____ ば
 - ▶ 命令形: — (形容動詞に命令形はなし)

問題 28

- ▶ 形容動詞「必要だ」を活用させなさい。
 - ▶ 語幹: _____
 - ▶ 未然形: _____ う
 - ▶ 連用形: _____ た / _____ ない / _____ なる
 - ▶ 終止形: _____
 - ▶ 連体形: _____ とき
 - ▶ 仮定形: _____ ば
 - ▶ 命令形: — (形容動詞に命令形はなし)